

紙飛行機通信

香川大学教職大学院ニューズレター 28

令和7年度 教職実践研究交流会(10周年記念事業)が行われました

8月2日、教職実践研究交流会を開催しました。今年度は教職大学院開設10周年の節目にあたります。香川県教育委員会をはじめと多くのご来賓をお迎えし、教職大学院修了生の表彰、現院生による中間発表、そして各コースに分かれての交流会が実施されました。

後半の全体会では、広島県教育委員会義務教育指導課指導主事の山口悠先生、尾道市立高西中学校の小坂亮太先生をお招きし、「広島県の取組～個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実～」と題したご講演をいただきました。現場での実践に基づいた貴重なお話に、参加者一同、大いに刺激を受けました。



学び続ける教員として

本年度は10周年記念事業にあわせて、教職大学院修了後も継続して研究実践に取り組まれている「学び続ける教員」の優秀表彰を行いました。この表彰は、修了後に3年間以上にわたり、大学院での学修を生かして、担当教員と連絡を取りながら研究実践を継続し、論文執筆や学会発表を通じて広く発信されている修了生を「学び続ける教員」として表彰するものです。

今回表彰されたのは、写真左から三垣優子先生、近藤広理先生、赤井真三子先生、久保孝彰先生の4名です。教職大学院での学びを礎に、修了後も探究を続け、教育の質の向上に貢献されています。その姿は、まさに「学び続ける教員」の模範であり、後進の教員にとって大きな励みとなるものです。今後も、教職大学院での学びが現場での実践と結びつき、教育の未来を切り拓く力となることを期待しています。



教職大学院説明会を開催します

第3回
令和7年 12月 26日(金)
16:30～18:00開催

参加フォームは
こちら
クリックも可



教職大学院にご興味のある方(入試を考えておられる方)を対象に対面とオンライン(Zoom)併用による教職大学院説明会を左記の日程で行います。実際の大学院での学び、院生の様子、入試など、本学教職大学院にご興味のある方に向けた話をいたします。ご質問やご相談にお応えする時間も設けます。ご都合のつく折に、ぜひご参加ください。

自分自身の視野を広げる学び

教職大学院での多様な講義や実習を通して、自分自身の視野の広がりを感じています。講義では、学校教育目標に向けた教育活動の推進や、教育課題に学校全体で組織的に対応することの重要性などを学びました。事例検討では、異なる立場や専門性を持つ院生との協議を通して、支援の在り方を見つめ直す機会を得ることができました。実習では、子どもたちの安全を守るための危機管理意識を養いながら、実践的な学びを深めています。これまでは、養護教諭として保健室からの視点を中心に捉えていましたが、現在は、保健室での支援に加えて、教室や学校全体を見渡す広い視野から、子どもたちの健やかな成長を支えていきたいと考えています。これからも理論と実践を往還しながら、教育現場で子どもたちに還元していけるよう、学びを深めていきたいと思っています。

学校力開発コース 河田 美穂

専門性を高めるために

特別支援力開発コースでは、子どもの学習上又は生活上の困難への指導・支援の在り方について、理論と実践の双方から専門性を深めることができます。心理検査を実際に取り扱いながらアセスメントについて理論的に学ぶ演習や個別の指導計画の作成に係る具体的な検討を重ねる演習をはじめ、特別支援教室「すばる」における個別指導の実習等、多様な学びの機会を通じ、一人一人の特性に応じた指導・支援について考える日々を過ごしています。また、これらコースの授業からは、LD・ADHD等のアセスメントや指導の専門資格「特別支援教育士（S.E.N.S）」の資格取得に必要なポイントを得ることも可能です。本学で学びを深めるとともに、学んだことを学校現場で実践と結びつけながら、S.E.N.S取得に向けて取り組んでいきたいと思っています。

特別支援力開発コース 亀井 実花

理論と実践の往還から考えること

前期で学んだ理論や先行研究と、小学校での実習がつながり、自分自身の教育への見方が変わりつつあります。最も大きな変化は、科学的根拠を基に教育実践を捉え直すようとしていることです。「よい教員」・「よい授業」とは何か、「子ども理解」、「生徒指導」に大切なことは何かを改めて考えるようになりました。これまでの経験も大切にしながら、より子どもたちの力がつくための授業や支援について議論を深めています。特に、私が研究テーマにしている小学校道徳科において、この半期は新しい発見に溢れていました。先生方からゼミで直接教えていただくことにより、自らの実践の課題や改善点に気付くことができました。また、倫理や哲学、道徳科の歴史、様々な方法などに触れることで、授業づくりに新たな視点加わりました。後期は、学んだことを授業中の具体的な手立てや支援に生かすことができるようにさらに考えていきたいです。

授業力開発コース 新居 淳嗣

短期留学での学び

みんなちがって、みんないい！ in New Zealand

約1か月間、ニュージーランドに滞在し、Ao TawhitiとRiccarton High Schoolの2つの学校で教育実習を行わせていただきました。主に授業参観や机間指導を行い、それらを通じて、現地の教育に触れることができ、多くの学びを得ることができました。特に印象的だったのは、70を超える国籍の生徒が在籍するRiccarton High Schoolに訪問した時のことです。第一言語が英語ではない生徒が在籍するクラスに入らせていただいたのですが、授業や生徒同士のやり取りがすべて英語で行われており、教室内で英語が共通言語として機能していることに驚きました。また、休み時間に、生徒たちと一緒にバレーボールを楽しみ、多様な文化的背景を持つ人々が笑顔で交流する姿に心を打たれました。言語や文化の違いを超えて関係を築く彼らの姿から、多文化共生の意義について改めて実感する貴重な機会になりました。

授業力開発コース 常包 孝彦

